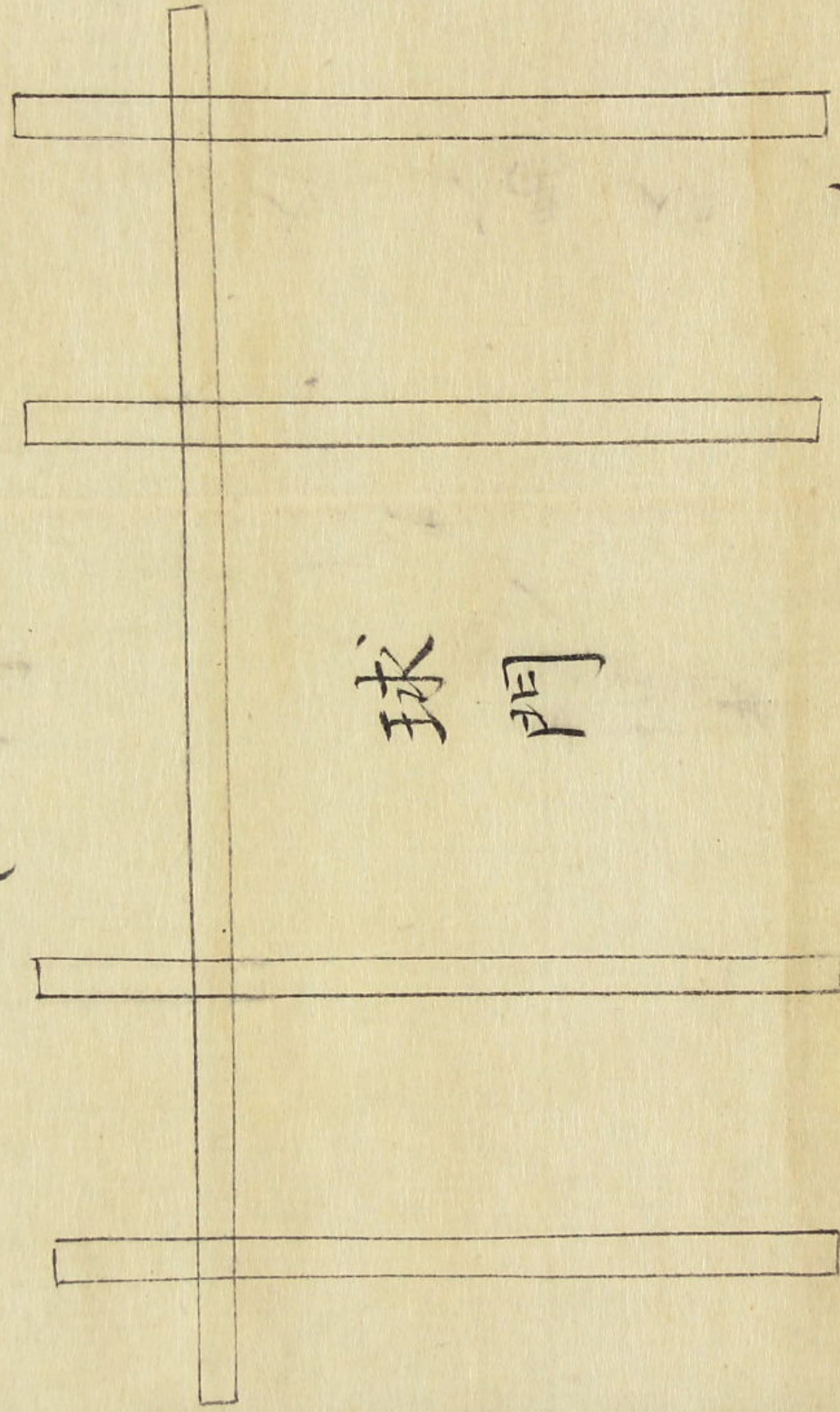


打球之圖

馬人馬人馬人馬人馬人

馬人馬人馬人馬人馬人



球門

馬場本

馬人馬人馬人馬人馬人

馬人馬人馬人馬人馬人



人馬

馬

拍木

貝

大鼓

鐘

球持

球投

毬

所見馬

日文
日記

檢見
赤馬

檢見
白馬

檢見馬
赤馬
檢見白馬

此檢見
不

旗持

馬馬馬馬
馬馬馬馬
馬馬馬馬

馬馬馬馬
馬馬馬馬
馬馬馬馬

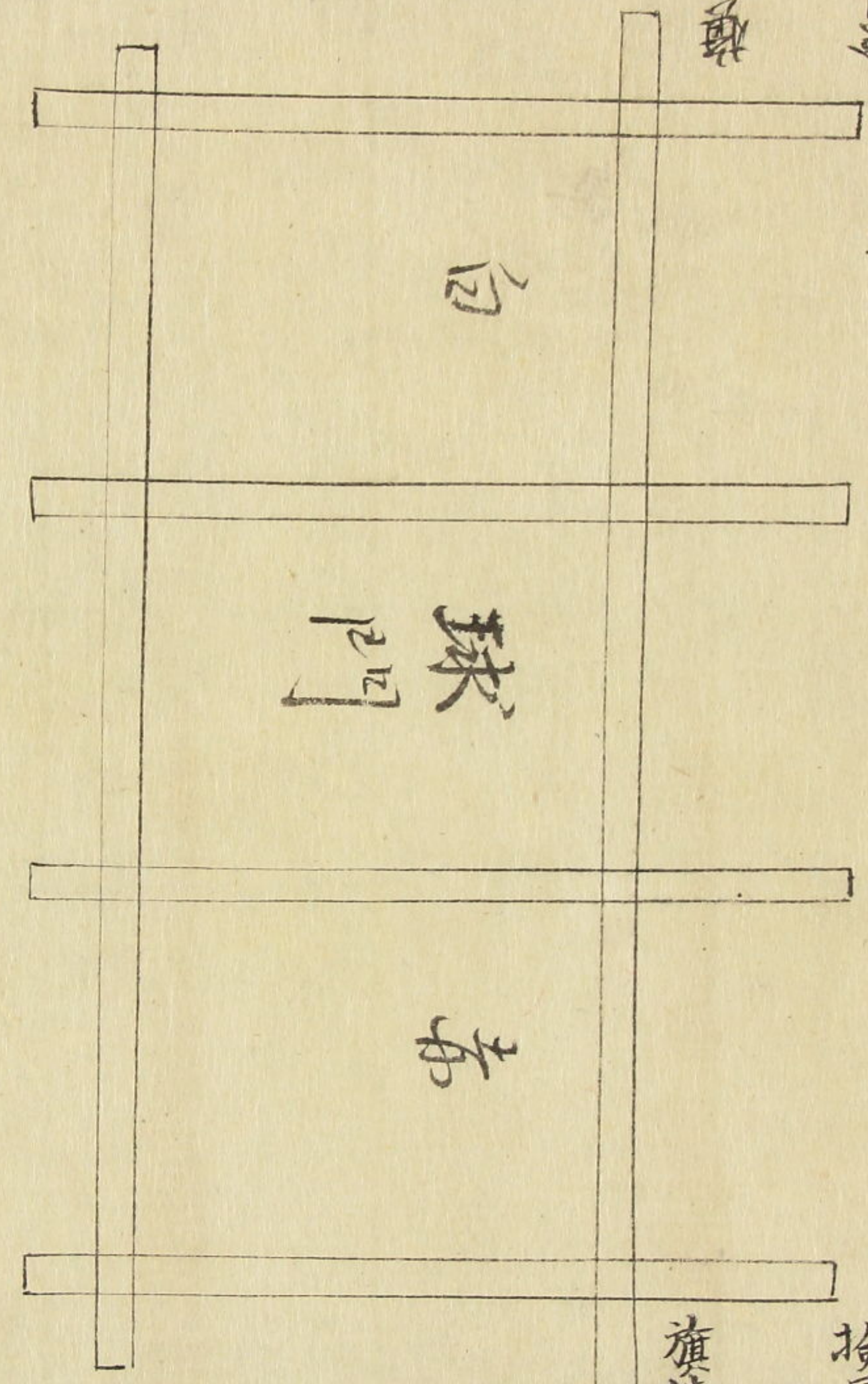
檢見

此所
不

旗持

此檢見
旗持

馬馬馬馬馬
此所
檢見



馬馬馬馬馬
此所
檢見

右圖のよく夫くの役人
着坐みへし檢見も主人
出やまのふらへく騎馬入
園の如く馬をさくるなり

- 一主人馬見所は御着せみ
- 一赤球人各馬を牽きて馬場
本乃球門の外へし

一主人馬見所より御着申すあり
へし

一打球人各馬を牽きて馬場
牽乃球門の外よりへし

一拍木三音程聴て各馬を牽き
て球門より入りし 其人のひたせり 各

馬見所より向て一拜ありし
其人のひたせり

一貝三音を聴て各馬より
へし

一太鼓三音を聴て檢見球門
乃側りしを球投 由りし

を投て出せり 白赤白赤とありけり
一ツなけり 出すくし二騎より由りし
二ツありし 十人より二十ヤ男の六
馬場中より 騎馬馳出て各

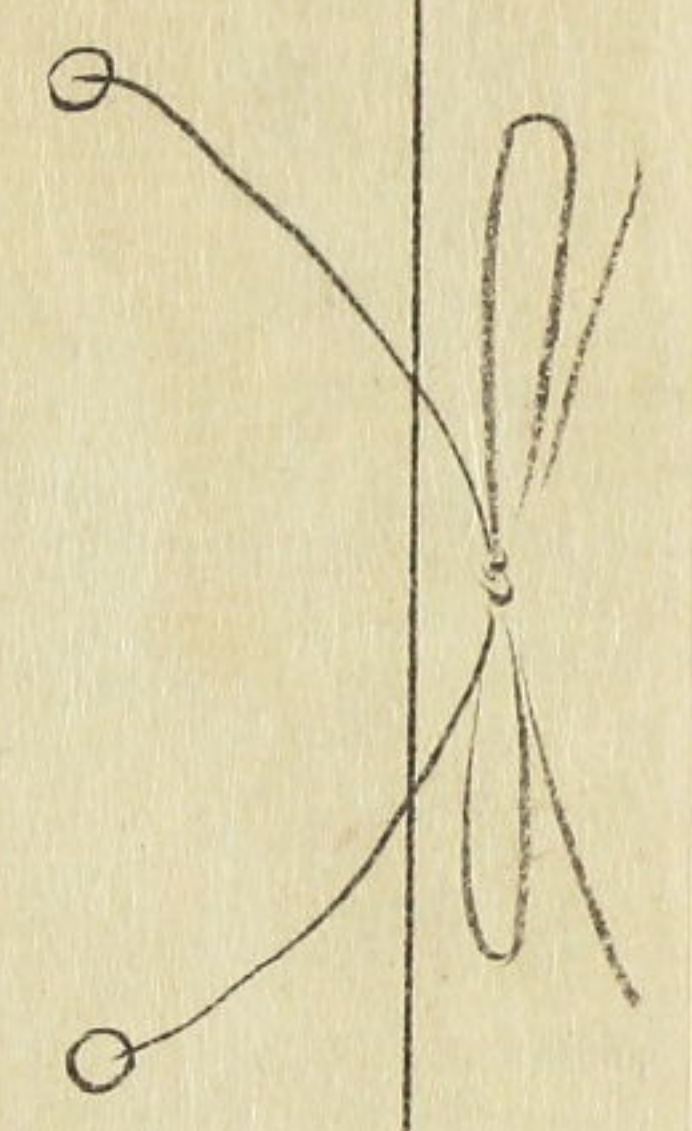
由りしをすし球門よりけり
へし 口傳

一球球つよ 了る時 検見座を
揚る旗持旗を立る鐘鼓

鐘をとり 座を振座をと合を
日記付り 記を付る 口傳

一由りし 了る時 二ツありし
各列を 正し 馬見はあつて
子個禮ありし

一球球つよなる時旗乞座を
 揚る旗持旗をとる鐘役
 鐘をとり座を振座をとるを
 日記付日記をとける口傳
 一 座を致終る時右左二つ
 各列をと正しし 馬見はあつし
個體あつし
此時一つもすしつものも球つよ白赤
かきこむものも馬しつ通すし
 馬場中馬をとるを初の如し
 一 拍本二とるを聴各右馬し
 馬見は白ひ一禮して球門
 を出退出すし 半人か馬を
かきこむ
 海し



富士見馬場
打球日記

白方 勝

大和守殿

政長

吉光

久経

白五

赤三

赤一



富士見馬場

打球日記

白方勝

大和守殿

白五
赤三

政長

白二
赤一

吉光

赤一
白二

久經

○

忠一

赤三

赤方

信吉

白一

光忠

○

友吉

○

運

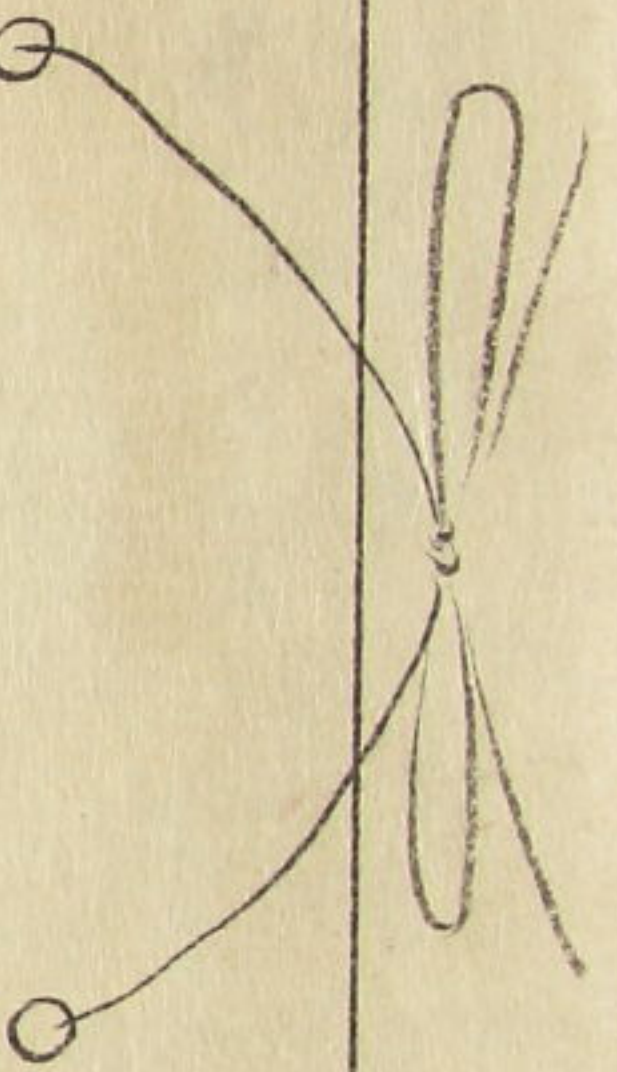
白一

是常

○

享保十一

五月五日



五月五日

右某氏以秘本書寫
畢雖非故實近來
流仍之一也

寬保壬戌

五月

伊藤集于太

幸充

子

右免傳寫畢

松岡清助

文化七年

八月

辰方

子

文化七庚
八月

松岡清助

辰方

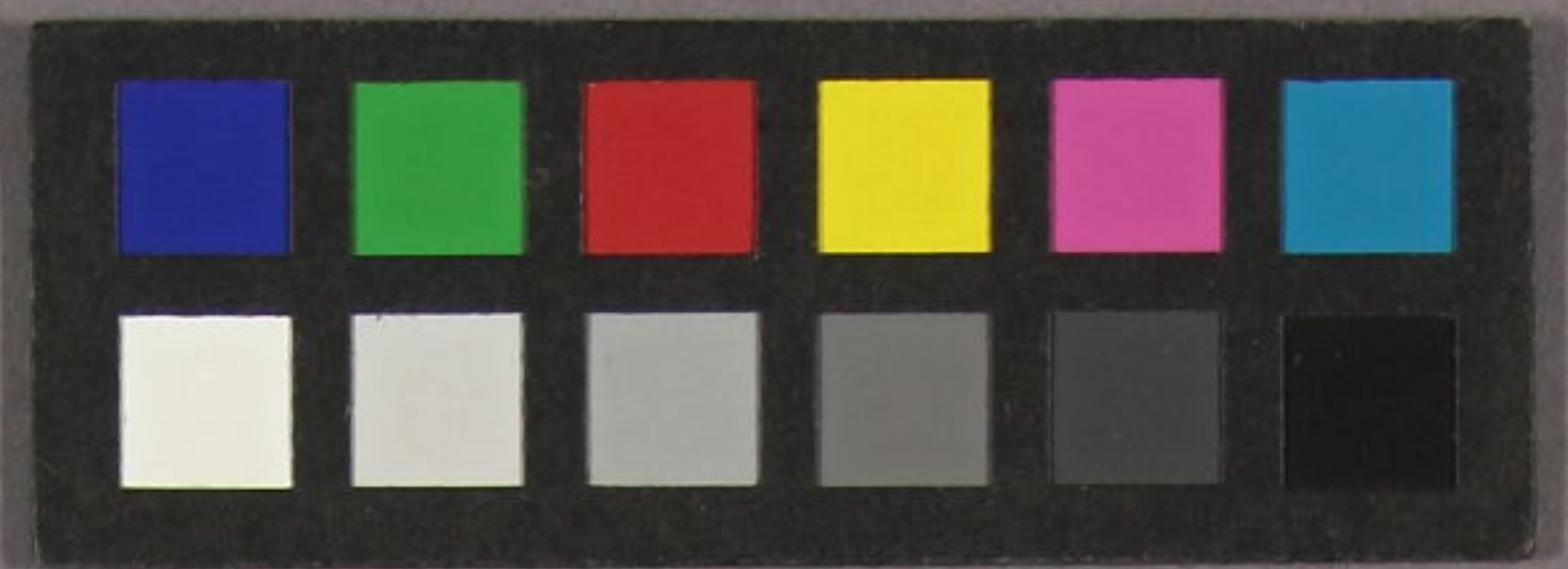
一

八幡与一



73
3645
175





打球之圖

73 特
3645
175



竹珠八圖

175

73
3645
175